

現場説明書

特記事項1

工事名：R6企総管 吉野川北岸工業用水道 PAC注入設備取替工事（一部債務負担）

法令及び規格

1 諸法令の遵守

受注者は、本工事の施工にあたり、次に掲げる関係法令及び工事に関する諸法令を遵守するものとし、その運営及び適用は、受注者の負担と責任において行うものとする。

- (1) 電気設備技術基準
- (2) その他関係法令等

2 適用規格

本工事における設計及び製作並びに材料等の品質規格は、設計書に定めるもののほか、次に掲げる規格に適合したものとする。ただし、監督員が特に認めた場合はこの限りではない。

- (1) 日本産業規格（JIS）
- (2) 日本電機工業会規格（JEM）
- (3) 電気学会電気規格調査会標準規格（JEC）
- (4) 日本電線工業会規格（JCS）
- (5) 日本工業用水協会規格（JIWA）
- (6) その他関係規格、基準等

書類関係

1 図書の承諾

受注者は、次に掲げる図書を指定期日までに提出し、機器の設計・製作及び検査を実施する前に監督員の承諾を得なければならない。

- | | | |
|-------------------|-------------|------|
| (1) 図書類 | 設計完了後速やかに | 2部 |
| ア 外形図 | | |
| イ 組立図 | | |
| ウ 配管・配線図 | | |
| エ 機器配置図 | | |
| オ 単線結線図 | | |
| カ 展開接続図 | | |
| キ シーケンスブロック図 | | |
| ク 施工図 | | |
| ケ その他監督員が指示する図面 | | |
| (2) 納入機器及び材料の仕様 | 設計完了後速やかに | 2部 |
| (3) 工場試験立会検査要領書 | 検査予定30日前までに | 2部 |
| (4) 現場試験立会検査要領書 | 検査予定30日前までに | 2部 |
| (5) その他監督員が指示する図書 | | 必要部数 |

2 提出書類

受注者は、「徳島県電子納品運用ガイドライン【土木工事編】」に基づいて作成した成果品（正・副2部）を提出する。また、次に掲げる図書については電子データによる納品を基本とするほ

現場説明書

特記事項2

工事名：R6企総管 吉野川北岸工業用水道 PAC注入設備取替工事(一部債務負担)

か、紙媒体により指定期日までに指定部数を提出しなければならない。

(1) 施工計画書	現場工事着手30日前までに	2部
(2) 工事打合せ議事録(電子メール等を活用しない場合)	打合せ後7日以内	2部
(3) 据付記録	実施後3日以内	2部
(4) 検査及び試験記録	実施後7日以内	2部
(5) 工事写真	工事しゅん工検査請求日までに	2部
(6) 工事日報	作業日翌日までに(土日祝日を除く)	1部
(7) 完成図書	工事しゅん工検査請求日までに	4部

ア 完成図面

(ア) 外形図

(イ) 組立図

(ウ) 配管・配線図

(エ) 機器配置図

(オ) 単線結線図

(カ) 展開接続図

(キ) シーケンスブロック図

(ク) 施工図

(ケ) その他監督員が指示する図面

イ 据付及び配線・配管記録

ウ 検査及び試験記録

エ 交換部品周期表

オ 取扱説明書

なお、完成図書のスタイルは、監督員の指示による。

(8) その他監督員が指示する図書 必要部数

設計及び製作

1 一般事項

(1) 各機器は操作が容易であり、分解または保守、異常時の処置が安全かつ容易に行える構造とする。

なお、極力省スペース化を実現するものとする。

(2) 各機器の製作にあたっては、耐震性及び耐雷性を考慮しなければならない。また、各機器は、常時発生する騒音を極力抑えたものとする。

(3) 各機器を構成する部品、材料及び機器間の接続材料等は規格品を用いるほか、規格の適用されないものについては、特に厳選されたものを使用すること。

(4) 各機器は、地球環境を考慮し、できる限り将来リサイクル可能な材料を選定するとともに、設計においては十分配慮しなければならない。

(5) 各機器の塗装は、防錆処理後焼付等の処理を行うものとする。ただし、塗装不可能な部分については、メッキ処理等を行い、長期間発錆が生じないようにすること。

なお、汎用品については、製作メーカー標準の塗装処理とする。

工事名：R6企総管 吉野川北岸工業用水道 PAC注入設備取替工事(一部債務負担)

- (6) 各機器の接液部材質は、「超高塩基度ポリ塩化アルミニウム」(以下「PAC」という。)に対する耐食性を有するものとする。
- (7) 各機器は機器配置図と照合できる記号あるいは番号を付けるものとする。
- (8) 各配管及び弁類には液流方向が分かるように、適所に矢印等を付けるものとし、常時の開閉状態を表示する札等を付けるものとする。
- (9) 配管の敷設に必要な付属材料(管継手、接合材料及び支持材料)を用意するものとする。
- (10) 配管サポート、フランジ用ボルト、ナット類はSUS304製とする。
- (11) 盤内はできるだけ充電部が露出しない構造とし、露出した充電部はカバーを取り付ける等の安全対策を施すものとする。
- (12) 盤の運転・停止操作スイッチには、マグネット式の保護カバーを取り付けること。
- (13) 盤には盤内照明を取り付け、ドアスイッチで入り切りさせること。
- (14) 盤の扉は、ストッパー付とすること。
- (15) 盤には鍵を取り付けるものとする。型番は、別途指示するものとする。
- (16) 操作スイッチの重要性に応じて誤操作等を生ずる恐れのない構造とすること。
- (17) 盤内配線には、すべて配線番号を付すこと。

2 機器の仕様

機器は、次の仕様を満足するものとする。

(1) 共通事項

- ア 各機器は、個々に特性試験を実施し、合格したものでなければならない。
- イ 各機器は、品名、型式、製造年月日及び製造者名等を銘板にて表示しなければならない。
- ウ 特記なき事項は、原則別紙に示す既設機器の仕様に準ずるものとする。

(2) PAC注入ポンプ制御盤

1面

ア 形式	鋼製屋内自立閉鎖型配電盤	
イ 寸法	W1,400×H2,300×D800mm以内(チャンネルベース50mm程度)	
ウ 材質・板厚	鋼板製、扉3.2mm以上、側面2.3mm以上、その他1.6mm以上	
エ 塗装色	マンセル5Y7/1	
オ 制御対象機器	PAC注入ポンプ3台、電動式ダイヤフラム弁	7台
カ 入力電源電圧・周波数	460V、60Hz	
キ 盤面取付機器		
(ア) 名称銘板		1式
(イ) 交流電圧計(電源電圧表示用広角度形)		1台
(ウ) 流量計(1～3号PAC注入ポンプ流量表示用広角度形)		3台
(エ) 回転計(1～3号PAC注入ポンプ回転数表示用広角度形)		3台
(オ) ストローク開度(1～3号PAC注入ポンプストローク開度表示用広角度形)		3台
(カ) 運転時間計(1～3号PAC注入ポンプ運転時間表示用)		3台
(キ) PAC注入ポンプ切替スイッチ	手元/遠方切替	1式
	手元1/遠方/手元2切替	

現場説明書

特記事項4

工事名: R6企総管 吉野川北岸工業用水道 PAC注入設備取替工事(一部債務負担)

(ク) PAC注入ポンプ操作スイッチ	停止/運転	1式
(ケ) PACタンク自動切替弁切替スイッチ	手動/自動切替 1号/2号切替	1式
(コ) PACタンク自動切替弁操作スイッチ(押釦)	開/閉	1式
(サ) 回転数設定器		3台分
(シ) ストローク増減器		3台分
(ス) LED表示灯		1式
(セ) 押釦スイッチ(警報停止、表示復帰、ランプテスト)		1式
ク 盤内収納機器		
(ア) 電源ユニット(演算器、変換器等用電源)		1式
(イ) 配線用遮断器		1式
(ウ) 電磁接触器		1式
(エ) 回転数制御ユニット(インバータ制御)		3台分
なお、インバータ制御に伴うノイズ等の影響に対して、必要に応じ以下の対策を講じること。		
a	高調波抑制対策	
b	ノイズ低減対策	
c	振動低減対策	
d	力率改善対策	
e	サージ電圧抑制対策	
(オ) ストローク制御ユニット		3台分
(カ) ダイヤフラム弁操作ユニット(連動/単独切換、開/閉操作)		5台分
(キ) 補助継電器類		1式
(ク) 盤内照明灯		1式
(ケ) その他(ブザー、ヒューズ、スペースヒータ)		1式
ケ 予備品		
(ア) 補助継電器類	各種実装数の20%以上	
(イ) ヒューズ類	各種実装数の100%以上	
(ウ) LED表示灯、信号灯	各種実装数の20%以上	
コ 付属品		
(ア) マグネット式保護カバー(ポンプ運転停止操作スイッチ用)		3個
(イ) アンカーボルト、取付金具等		1式
(3) PAC注入ポンプ		3台
ア	形式	ミルフロー制御容量ポンプ
イ	流体	超高塩基度PAC(ポリ塩化アルミニウム)
ウ	ピストン径	50mm程度
エ	吐出量	0.1リットル/分~6.05リットル/分
オ	最高吐出圧力	0.5MPa以上
カ	吐出量精度	±1%FS以内

現場説明書

特記事項5

工事名：R6企総管 吉野川北岸工業用水道 PAC注入設備取替工事（一部債務負担）

キ 容積効率	95%以上	
ク 機能	制御盤と連動し自動制御による吐出量調節ができること	
ケ ストローク調節方式	電気式	
コ 電動機		
(ア) 形式	回転数制御方式（インバータ駆動）	
(イ) 電源電圧・周波数	3相460V、60Hz	
(ウ) 電動機取付方向	横方向（既設同様）を標準とする	
サ 付属品	据付材料、分解工具等	1 式
シ その他	ダイヤフラムの破損検知付き	
(4) 背圧弁		2 個
ア フランジ規格	JIS 10K 25A	
イ 接液部材質	PVC・PTFE	
ウ 設定圧力	0.1MPa	
(5) エアーチャンバ		2 台
ア フランジ規格	JIS 10K 25A	
イ 本体材質	PVC	
(6) ダイヤフラム弁		8 台
ア フランジ規格	JIS 10K 25A	
イ 本体材質	PVC	
ウ 接液部材質	EPDM	
(7) ダイヤフラム弁		2 台
ア フランジ規格	JIS 10K 20A	
イ 本体材質	PVC	
ウ 接液部材質	EPDM	
(8) ダイヤフラム弁		2 台
ア フランジ規格	JIS 10K 15A	
イ 本体材質	PVC	
ウ 接液部材質	EPDM	
(9) ダイヤフラム弁		6 台
ア フランジ規格	JIS 10K 65A	
イ 本体材質	PVC	
ウ 接液部材質	EPDM	
(10) 電動ダイヤフラム弁（開度表示付き）		2 台
ア フランジ規格	JIS 10K 65A	
イ 本体材質	PVC	
ウ 接液部材質	EPDM	
エ 定格電圧/電流	AC220V/0.8A以下	
(11) 電動ダイヤフラム弁（開度表示付き）		3 台

現場説明書

特記事項6

工事名：R6企総管 吉野川北岸工業用水道 PAC注入設備取替工事(一部債務負担)

ア	フランジ規格	JIS 10K 40A	
イ	本体材質	PVC	
ウ	接液部材質	EPDM	
エ	定格電圧/電流	AC110V/0.5A以下	
(12)	電動ダイヤフラム弁（開度表示付き）		2台
ア	フランジ規格	JIS 10K 25A	
イ	本体材質	PVC	
ウ	接液部材質	EPDM	
エ	定格電圧/電流	AC110V/0.5A以下	
(13)	安全弁		3台
ア	フランジ規格	JIS 10K 25A	
イ	本体材質	PVC	
ウ	接液部材質	PTFE	
エ	定格電圧/電流	AC110V/0.5A以下	
(14)	圧力計（警報接点付）		2台
ア	フランジ規格	JIS 10K 15A	
イ	種類	隔膜フランジ式 2接点付	
ウ	接点容量	AC100V/0.5A以下	
(15)	流量計		2台
ア	フランジ規格	JIS 10K 25A	
イ	種類	面積式	
ウ	流量範囲	30～300ℓ/h	
エ	メータサイズ	20A	
オ	テーパ管	ガラス製	
(16)	流量計		2台
ア	フランジ規格	JIS 10K 25A	
イ	種類	面積式	
ウ	流量範囲	5～50ℓ/h	
エ	メータサイズ	15A	
オ	テーパ管	ガラス製	

現場工事

1 一般事項

- (1) 受注者は、本工事の現場作業の着手に際し、あらかじめ作業手順及び施工方法等について監督員と協議を行わなければならない。
- (2) 受注者は、現場工事の施工に際し、十分な経験を有する技術員が適用規程等を遵守の上で施工し、工事対象外設備の運用に支障を及ぼすことのないよう留意しなければならない。
- (3) 受注者は、作業の安全性確保のため、表示板、安全区画等の対策を講じなければならない。
- (4) 受注者は、既設建造物及び諸設備に損傷を与えないように留意しなければならない。万一損

工事名：R6企総管 吉野川北岸工業用水道 PAC注入設備取替工事(一部債務負担)

傷を与えた場合は、監督員の指示に従い受注者の責任において、原形復旧を行わなければならない。

- (5) 受注者は、工事終了後、速やかに工事現場の整理、整頓を行わなければならない。
- (6) 現場工事に必要な測定及び調査は、全て受注者の責任において行い、その不良による手戻りを生じた場合は、受注者の負担により解決しなければならない。
- (7) 発注者の設備機器の運転、停止及び開閉操作等は監督員が行うものとする。ただし、監督員の許可を得た場合はこの限りでない。
- (8) 本工事により不良箇所が発見された場合、受注者は速やかに監督員に報告し、その処置について協議する。ただし、軽微なものについては受注者の負担にて補修する。
- (9) 受注者は、本工事に必要な荷受け等の場所として構内を使用する場合は、事前に監督員の許可を得て使用し、許可された場所以外を使用してはならない。
- (10) 受注者は、工事工程表のとおり施行するよう工程管理に対する努力を怠ってはならない。ただし、天候の悪化等の条件により日程及び作業時間を変更せざるを得ない場合については、この限りではない。
- (11) 受注者は、現場作業員への風紀及び衛生の取締り並びに火災、盗難等の事故発生防止について十分注意すること。
- (12) 撤去に際しては、支持金物及びアンカー等の突起部分は撤去する。また、撤去跡の補修塗装等を行うものとする。
- (13) 主要部のボルト類締付けに際しては、適正な締付けトルクの管理を行うこと。
- (14) 受注者は、輸送に際して、荷造りは防湿等を考慮し、また輸送上必要な注意事項を明記し適当な転倒防止の方法を講ずる等して堅固に行い、輸送中に損傷のないよう十分注意すること。
- (15) PACに対しては、適切な保護具を着用する等、必要な安全策を講じ作業すること。
- (16) 原則として、PAC注入設備により、工事中もPACの注入が可能となるような措置を講じること。
- (17) 新設盤設置位置は、監督員と協議のうえ決定すること。
なお、新設盤設置位置は別添「第6号図面」に示す位置を想定している。

2 現場工事詳細

現場工事の詳細は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 次の機器の取替えを行う。
 - ア PAC注入ポンプ制御盤
 - イ PAC注入ポンプ
 - ウ エアーチャンバ
 - エ 面積式流量計
 - オ 圧力計
 - カ 各種弁類
- (2) 制御及び電源ケーブルの取替えを行う。
- (3) 薬液配管の取替えを行う。取替えについては次の事項に留意すること。

工事名：R6企総管 吉野川北岸工業用水道 PAC注入設備取替工事(一部債務負担)

ア 薬注室からN o 1 急攪池配管出口及びN o 2 急攪池配管出口までの配管の取替えを行う。

なお、配管の取替えに際しては、数日間であればそれぞれの設備停止は可能であるものとする。

イ 薬注室内の薬液配管については原則既設再使用とする。ただしポンプとの取り合い箇所等については必要に応じて取替えを行うこと。

(4) PACタンク出口配管及び各種弁類(保温材含む)の取替えを行う。

なお、PAC出口配管及び各種弁類の取替えに際しては、各PACタンクごとの設備停止とし、発注者にて対象のタンク内は空状態とする。また、既設管との接続部に閉止フランジを取り付ける際は、一時的に両PACタンクが設備停止となるため、極力短時間で作業を実施すること。

(5) 計装架台据付配管の改造を行う。改造内容は次の通りとすること。

ア 架台取付機器及び配管の保守・管理を容易にするため、流量計に隣接する出口側の直管の一部をフランジ接続し、架台から取り外しが容易となるよう改造する。

イ 改造内容は「第2号図面」を参考にすること。

(6) 薬注室へのケーブル引込みのため、ケーブルダクトの新設を行う。ダクト新設のため、換気窓に下記改造を行う。

なお、既設ケーブル引込口は浸水対策に伴いコンクリートで塞がれ使用不可となっている。

ア 薬注室換気窓(2箇所)のガラス撤去及びアルミ板のはめ込み、コーキングを行う。

イ その他改造内容について「第6号図面及び第7号図面」を参考にすること。

(7) 各種現地試験の実施

検査及び試験

1 工場立会検査及び試験

次に掲げる機器については、原則として、工場立会検査及び試験を実施するものとし、装置の製作状況及びその機能等については了承を得た後、現場へ搬出するものとする。

(1) 対象機器

ア PAC注入ポンプ制御盤

(2) 検査及び試験内容

ア 外観構造試験

イ 絶縁抵抗測定(ただし、電子部品関係は除く)

ウ シーケンス試験

エ 動作特性試験

オ その他必要な試験

2 現場立会検査及び試験

現場立会検査及び試験は、次に掲げる項目について行うものとする。

なお、その結果、不合格と判断されたものについては、速やかに改善又は補充し、再検査等を

現場説明書

特記事項9

工事名：R6企総管 吉野川北岸工業用水道 PAC注入設備取替工事（一部債務負担）

受けなければならない。

(1) 検査及び試験内容

- ア 員数検査
- イ 据付、配線、配管工事検査
 - (ア) 各機器の据付状況
 - (イ) ケーブル敷設状況
 - (ウ) 配管状況（漏液検査含む）
- ウ 絶縁抵抗試験（ただし、電子部品関係は除く）
- エ シーケンス試験
- オ 動作特性試験
- カ 総合動作試験
- キ その他監督員の指示する項目

現場説明書

特記事項10

工事名: R6企総管 吉野川北岸工業用水道 PAC注入設備取替工事(一部債務負担)

工 程

1 他工事等との調整 (対象 無)

2 施工の制限(対象 有)

PAC注入ポンプの取替時は、最低1台の運転が可能な状態を維持すること。
本工事の施工にあたっては、雨期や作業により工業用水が高濁度となるおそれがある際に施工してはならない。また、施工中にPAC注入設備の運転が必要となった場合は、PAC注入設備を運転可能な状態に復旧しなければならない。

3 作業時間帯(対象 無)

4 工事履行報告書(対象 無)

5 その他(対象 無)

用地関係

1 ブロック製作ヤード(対象 無)

2 仮置ブロック(対象 無)

支障物件

受注者は、工事着手前に必ず工事施工箇所の支障物件について確認し、監督員に「支障物件確認書(現場着手時)」を提出し、監督員の確認を受けた後、工事に着手すること。

1 支障物件の事前調査(対象 無)

2 支障物件の撤去(対象 無)

3 立木の置き場所(対象 無)

4 その他(対象 無)

公害対策

1 事業損失防止対策(対象 無)

2 濁水処理(対象 無)

3 低騒音型・低振動型建設機械(対象 無)

4 六価クロム溶出試験(対象 無)

安全対策

1 交通安全施設等(対象 無)

2 交通誘導警備員(対象 無)

3 足場通路等からの墜落防止措置(対象 無)

4 電力施設防護管(対象 無)

現場説明書

特記事項11

工事名: R6企総管 吉野川北岸工業用水道 PAC注入設備取替工事(一部債務負担)

建設副産物

- 1 建設発生土の利用(対象 無)
- 2 建設発生土の搬出(対象 無)
- 3 再生利用のための建設副産物の搬出(対象 有)
 - 1 受注者は、本工事の施工により発生する次の建設副産物について、再資源化を行うため産業廃棄物中間処理許可施設(再資源化施設)へ搬出すること。また、搬出に際しては、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」を遵守しなければならない。
 - 2 受注者は、建設副産物の搬出前に受入場所・条件等について、監督員と協議するものとする。
 - 3 自己処理を希望する場合は、監督員と協議するものとする。
 - 4 受入先との協議の結果、再資源化が困難である場合は、監督員と協議するものとする。

	廃プラスチック類	ガラスくず	金属くず	有価物	その他
対象物	○	○	○	○	

- 4 最終処分のための建設副産物の搬出(対象 無)
- 5 建設汚泥の自工事現場内における再生利用(対象 無)
- 6 建設汚泥の中間処理方法等(対象 無)
- 7 建設汚泥処理土の利用(対象 無)
- 8 建設汚泥処理土の搬出(対象 無)
- 9 剥ぎ取り表土の利用(対象 無)
- 10 一般廃棄物の搬出(対象 無)
- 11 根株等の利用(対象 無)
- 12 根株処理工の出来高の算出(対象 無)

工 事 用 道 路

- 1 工事用道路等の補修(対象 無)

仮 設 備

- 1 床掘(対象 無)
- 2 鋼矢板等の打込引抜工法(対象 無)
- 3 仮設防護柵工(対象 無)
- 4 仮締切り(土留)(対象 無)
- 5 鋼矢板二重締切(対象 無)
- 6 水替施設(対象 無)
- 7 異常出水の処置(対象 無)

現場説明書

特記事項12

工事名: R6企総管 吉野川北岸工業用水道 PAC注入設備取替工事(一部債務負担)

その他

1 図面の電子納品(対象 無)

2 標準断面図板設置の省略(対象 有)

本工事は、標準断面図板の設置を省略する。

3 しゅん工標設置の省略(対象 有)

本工事は、しゅん工標の設置を省略する。

4 施工計画書(対象 有)

受注者は、徳島県土木工事共通仕様書1-1-1-5の規定に基づき、施工計画書を監督員に提出しなければならない。

※受注者は、当該項目の対象の有無に関わらず、当初請負対象金額が5,000万円以上の工事及び低入札価格調査制度の低入札価格調査基準価格を下まわって落札した工事(低入札工事)においては、施工計画書を監督員に提出しなければならない。

5 同一の場所において施工する工事同士の現場代理人の兼務(対象 無)

※現場代理人の兼務については、同一の場所において施工する工事同士の兼務のほか、仕様書に記載された要件を全て満たす場合についても兼務を認めている。

6 三者会議※(対象 無)

ただし、主任技術者の専任が必要な工事で、主任技術者が2つの工事を兼務(兼務届を提出する場合)し、かつ次の①～④のいずれかに該当する工事は、三者会議(三者以上の会議を含む)を実施する。

①橋梁、トンネル、樋門等の重要構造物工事を含む工事

②現場条件が特殊である工事

③施工に要する技術が新規又は高度である工事

④その他、設計時の設計意図を詳細に伝達する必要がある工事

三者会議の開催は、工事着手前に実施し、施工条件の変更等の問題が生じた場合には必要に応じ、監督員と協議を行って、複数回開催することができる。

※「三者会議」とは、発注者と受注者と設計者の三者が一堂に会することにより、設計者の意図や施工上の留意点を受注者に的確に伝え、設計図書と現場との整合性を確認協議することにより、工事施行の円滑化と品質の確保を図ることを目的とし実施する。

なお、基礎杭や大規模仮設等専門性の高い工種を伴う工事では、施工者に専門工事業者(下請)の主任技術者を加え会議を実施する。

また、地質構造の複雑な箇所、地形の変化が大きい箇所等、特に地質情報の不確実性が高い現場における工事や地質技術者が参画することで当該工事の品質確保が図られると認められる工事では、地質技術者を参加させ会議を実施する。

7 コンクリートの単位水量の測定(対象 無)

8 セメント・モルタル吹付(対象 無)

9 水抜孔(対象 無)

10 種子吹付(対象 無)

11 植栽樹木の植え替え義務(対象 無)

12 使用材料の品質、規格、性能等(対象 無)

13 LED道路・トンネル照明灯の品質、規格、性能等(対象 無)

14 使用材料の品質規格等(製品名表示)(対象 無)

15 県産木材の使用(県産木製型枠以外)(対象 無)

現場説明書

特記事項13

工事名: R6企総管 吉野川北岸工業用水道 PAC注入設備取替工事(一部債務負担)

16 新技術の活用について(対象 無)

17 アスファルト舗装工事(施工途中の交通開放)(対象 無)

18 橋梁修繕工事(伸縮装置取替)(対象 無)

19 各種様式

各種様式については、下記徳島県ホームページよりダウンロードすること。

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/kendozukuri/kensetsu/2009091500237>

既設機器仕様一覧表

名 称	PAC 注入ポンプ制御盤		
種 類	屋内自立閉鎖型		
設 置 場 所	薬注室		
材 質 ・ 色 彩	鋼板 (正面扉, 背面扉, 側面板, 天井板 t=3.2) 5Y7/1		
寸 法	W1,400 × H2,300 × D800 mm		
盤面取付機器	指示形	PAC 注入量 (0 ~ 400 ℓ/h)	3 台
	〃	ポンプ回転数 (0 ~ 90rpm)	3 台
	〃	ポンプストローク (0 ~ 25 mm)	3 台
	〃	電圧 (0 ~ 600V)	1 台
	切換開閉器	BH-T3102	1 台
	〃	B-H2108L	4 台
	〃	BH-V2E	1 台
	操作開閉器	BH-S1102	3 台
	調整抵抗器	RV30YN	3 台
	スペクトロールT		3 台
	時間計	TH241	3 台
	押ボタン	ABN122-B	7 個
	表示灯		赤 3 個, 緑 3 個
	状態表示器	8 項目用	1 台
	故障表示器	24 項目用	1 台
補助継電器 (裏面)	オムロン	MY4N-CR	61 個
	〃	MY4N-D2	26 個
	〃	MK3PN	19 個
	〃	MYA-LA12	24 個
	〃	H3CR-A8 (12 分:3 個, 3 分:5 個, 2 分:3 個)	11 個
盤内取付機器 (表面)	モータ端サージ電圧抑制フィルタ	MSF-4015Z	3 台
	VVVF エニット	VFPS1-4007PL	3 台
	制御電源オフション	CPS002Z	3 台
	零相リアクトル	F11080GB	2 台
	入力リアクトル	PFL-4012S	3 台
	NFB	SH100-3PAS (30AT)	3 台
	電磁接触器	C20J	3 台
	直流リアクトル	DCL3-4007	3 台
	過電流継電器	LEG-121L	3 個
	サーマルリレー	T20J-Q	3 個
	零相変流器	SM41	3 台
	NFB	SH100-3PAS (50AT)	1 台
	変圧器	EPT-S20V (400VA, 440V / 200V)	1 台
	ブザー	BZ-17H	1 個
	スタップスイッチ	WD1311 (電動バルブ 10 個, スペースヒーター 1 個)	11 個
	ヒューズ	NRF5-30 (3A)	3 個
	RECEPT	DC1111E	1 個
ヒーター	SSH-1108 (80W)	1 台	

既設機器仕様一覧表

盤内取付機器 (裏面)	NFB	SH100-2PS (20AT) 制御用 Tr 1 次	1 台
	〃	NJ50N-3PAL (10AT) 制御用 Tr 2 次	1 台
	〃	NJ50N-2PAL (10AT) 計装電源	1 台
	〃	NJ50N-2PAL (10AT) PAC 注入ポンプ 共通制御電源	1 台
	〃	NJ50N-2PAL (5AT) タク自動切換弁	1 台
	〃	NJ50N-2PAL (5AT) 盤内付属電源	1 台
	〃	NJ50N-2PAL (5AT) 1 号 PAC 注入ポンプ 制御電源	1 台
	〃	NJ50N-2PAL (5AT) 2 号 PAC 注入ポンプ 制御電源	1 台
	〃	NJ50N-2PAL (5AT) 3 号 PAC 注入ポンプ 制御電源	1 台
	〃	NJ50N-2PAL (5AT) パワーアダプタ	1 台
	〃	NJ50N-2PAL (DC) (5AT) 故障表示電源	1 台
その他の 盤内 取付 機器	パワーアダプタ	用途	デジタル式演算変換器用電源, ACV/I 変換器用電源
		取付場所	PAC 注入ポンプ 制御盤
		型式	AB101 型
		数量	1 台
		入力	85V ~ 250V (AC) 45 ~ 65Hz
		出力	24V (DC) 3A
		出力安定度	電源電圧変動 : ± 0.2V/10%電源変動 負荷変動 : 0.5V/0 ~ 100 %負荷変動 温度変動 : ± 0.2V/50 °C
		使用条件	電源電圧変動範囲 : 定格電圧 ± 10 % 使用温度 : 0 ~ 50 °C 使用湿度 : 10 ~ 90 % (結露しないこと)
		出力電圧リップル	250mVP - P 以下
		絶縁抵抗	0.1 M Ω 以上 (500V 以下)
		耐電圧	入力-接地、出力-接地間 (AC 2000V 1 分間) 入力-出力間 (AC 1500V 1 分間)
		出力短絡保護	有
		質量	1.2 kg
		製造者	(株) 東芝

既設機器仕様一覧表

1 号 P A C 注 入 量	機器名称	TAG.No	数量	測定 (目盛 範囲)	仕 様
	ACV/I 変換器	NT-209	1	0 ~ 100 VAC (RMS)	型名 AV308CAAAA1LAA 入力 12.5 ~ 100VAC (0 ~ 36VAC) 出力 4 ~ 20mA DC 精度 ± 0.25%FS 電源 24VDC ± 10% 製造者 (株) 東芝
	デジタル式 演算変換器	FY1-203	1		型名 JF-AA-R/4 入力 4 ~ 20mADC, 入力数 2 出力 4 ~ 20mADC 精度 ± 0.2%FS 電源 24VDC ± 10% 製造番号 KI017168 製造者 (株) エム・システム技研
	アイソレータ	NT2-207	1		型名 AV306AAAAA1LAA 入力 1 ~ 5VDC 出力 4 ~ 20mADC 精度 ± 0.2%FS 電源 24VDC ± 10% 製造者 (株) 東芝
2 号 P A C 注 入 量	ACV/I 変換器	NT-207	1	0 ~ 100 VAC (RMS)	型名 AV308CAAAA1LAA 入力 12.5 ~ 100VAC (0 ~ 36VAC) 出力 4 ~ 20mADC 精度 ± 0.25%FS 電源 24VDC ± 10% 製造者 (株) 東芝
	デジタル式 演算変換器	FY1-204	1		型名 JF-AA-R/4 入力 4 ~ 20mADC, 入力数 2 出力 4 ~ 20mADC 精度 ± 0.2%FS 電源 24VDC ± 10% 製造番号 KI017169 製造者 (株) エム・システム技研
	アイソレータ	NT2-208	1		型名 AV306AAAAA1LAA 入力 1 ~ 5VDC 出力 4 ~ 20mADC 精度 ± 0.2%FS 電源 24VDC ± 10% 製造者 (株) 東芝

既設機器仕様一覧表

3 号 P A C 注 入 量	機器名称	TAG.No	数量	測定(目盛)範囲	仕 様
	ACV/I 変換器	NT-208	1	0 ~ 100 VAC(RMS)	型名 AV308CAAAA1LAA 入力 125 ~ 100VAC (0 ~ 36VAC) 出力 4 ~ 20mA DC 精度 ± 0.25%FS 電源 24VDC ± 10% 製造者 (株) 東芝
	デジタル式 演算変換 器	FY1-205	1		型名 JF-AA-R/4 入力 4 ~ 20mADC, 入力数 2 出力 4 ~ 20mADC 精度 ± 0.2%FS 電源 24VDC ± 10% 製造番号 KI017170 製造者 (株) エム・システム技研
	アイソレータ	NT2-209	1		型名 AV306AAAAA1LAA 入力 1 ~ 5VDC 出力 4 ~ 20mADC 精度 ± 0.2%FS 電源 24VDC ± 10% 製造者 (株) 東芝

既設機器仕様一覧表

ポンプ	型式	1M2LB-E-H0. 8F-65M1PSP
	吐出量	6.05ℓ/min (容積効率 95.0%)
	ストローク長	22.0mm
	プランジヤ径	65.0mm
	回転数	87.3rpm
	ストローク長調節	電気サーボ
	回転数調節	インバータ
製造者名	日機装株式会社	
電動機	誘導電動機型式	1K/FCKLW8
	出力	0.75kW
	電圧・電流	460V/1.5A
	回転数・変速範囲	1710rpm ・ 300~1746rpm
	製造者名	(株) 東芝
背圧弁	型式	BV-7V-25
	口径	25mm
	接液部材質	PVC・PTFE
	設定圧力	0.1MPa
	製造者名	株式会社 イワキ
エアチャンパー	型式	A-2PV-10N
	口径	25mm
	本体材質	PVC
	製造者名	日機装株式会社
ダイヤフラム弁	型式	ダイヤフラムバルブ (14型)
	口径	25mm
	本体材質	PVC
	接液部材質	EPDM
	製造者名	旭有機材工業株式会社
ダイヤフラム弁	型式	ダイヤフラムバルブ (14型)
	口径	20mm
	本体材質	PVC
	接液部材質	EPDM
	製造者名	旭有機材工業株式会社

既設機器仕様一覧表

ダイヤフラム弁	型式	ダイヤフラムバルブ (14型)
	口径	15mm
	本体材質	PVC
	接液部材質	EPDM
	製造者名	旭有機材工業株式会社
ダイヤフラム弁	型式	D100型ダイヤフラムバルブ
	口径	65mm
	本体材質	PVC
	接液部材質	PTFE
	製造者名	北村バルブ製造株式会社
電動ダイヤフラム弁	型式	ダイヤフラムバルブ (14型) 電動式H型
	口径	65mm
	本体材質	PVC
	接液部材質	EPDM
	電圧・電流	220V/0.8A
	製造者名	旭有機材工業株式会社
電動ダイヤフラム弁	型式	ダイヤフラムバルブ (14型) 電動式H型
	口径	40mm
	本体材質	PVC
	接液部材質	EPDM
	電圧・電流	110V/0.5A
	製造者名	旭有機材工業株式会社
電動ダイヤフラム弁	型式	ダイヤフラムバルブ (14型) 電動式H型
	口径	25mm
	本体材質	PVC
	接液部材質	EPDM
	電圧・電流	110V/0.5A
	製造者名	旭有機材工業株式会社
安全弁	型式	RV-7V-25
	口径	25mm
	接液部材質	PTFE
	設定圧力	0.5MPa
	製造者名	株式会社 イワキ

既設機器仕様一覧表

警報 接点付 圧力計	型式	PK-8F1
	種類	隔膜フランジ式 2接点付
	接点容量	AC100V/0.5A以下
	製造者名	(株) 第一計器製作所
面積式 流量計	型式	R101型
	口径	25mm
	目盛	5~50ℓ/h
	テーパ管	ガラス製
	製造者名	東京計装株式会社
面積式 流量計	型式	R101型
	口径	25mm
	目盛	30~300ℓ/h
	テーパ管	ガラス製
	製造者名	東京計装株式会社